

福祉施設に清掃奉仕

陸自曹友会隊員がケアポート益城で

12月17日、老人保健施設ケアポート益城（吉永愛子施設長）で、健軍駐屯地や高遊原分屯地などの曹友会隊員75人がボランティア活動を行いました。

このボランティア活動は7年ほど前から続いており、寒空の下、隊員は網戸の掃除や窓拭き、側溝の泥上げなどに汗を流しました。

また、琴やトランペットの生演奏も清掃

作業と並行して披露。

10月に健軍駐屯地で開催された記念行事の収益金で車イスのプレゼントもあり、その数々の心のこもった贈り物に皆さん心を癒されていました。

職員の方々も「隊員の皆さんのおかげで今年も施設がピカピカになり、気持ちよく新年を迎えられます。とても感謝しています」と歓迎していました。



網戸などを入念に清掃する隊員の皆さん

ボランティアでつながる輪

町民体育館でボランティアまつり

11月20日、町民体育館でボランティア活動を広く地域に紹介し、住民参加のボランティアの輪を広げることを目的とした町社会福祉協議会主催のボランティアまつりが開催されました。

会場内はバザーや伝承遊び、介護予防、EMだんご作りなどでにぎわい、ステージでは、町内の小・中学生によるボランティア体験発表やみゆき&オートルズのコンサート、手話ダンスなどで盛り上がりました。また、昼食時には毎年人気のボランティア米で作られたカレーコーナーに長蛇の列ができ、この日のカレーやバザーの収益金は、全額「東日本大震災災害義援金」として寄付されました。



おいしそうにカレーをほおぼる子どもたち



葉山荘の皆さんと昼食を楽しむ芳東関

楽しい昼食、ごっつぁんです

芳東関が葉山荘を訪問

11月29日、大相撲九州場所を勝ち越しで終え、再入幕の声も高い芳東関（嘉島町出身、玉ノ井部屋）が町立養護老人ホーム葉山荘を訪問しました。これは、町内の福祉施設の入所者のみなさんとの交流を目的として、町相撲協会の協力により実現したものです。

身長が197cmもあり、角界きっての長身力士として知られる芳東関が会場に入ってくると、皆さんは「おおっ」という歓声とともに拍手で迎え、いつも使っている食器が小さく見えてしまうほど大きな関取を囲んで、うれしそうに会話しながら昼食を楽しみました。芳東関はこの日、益城中央小学校にも訪問しました。